

夕なぎ新聞 1月号

謹賀新年 2024



クリスマス会



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年早々、地震や衝突事故などの痛ましいニュースが相次ぎました。被災地では、多くの方が怖い思いや不自由な思いをされています。被災された方の将来への不安を話される報道などを聞くと、胸が痛くやり切れない思いで一杯になります。世界においてはロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ間で起きている戦争は、未だ終息の目途が立ちません。

新型コロナウイルス感染症の発症から約4年が経過しましたが、高齢者施設では感染による重症化を防ぐための対策は必要です。ひとたび新型コロナウイルス感染症が発生すると、感染拡大防止の対応を迫られるので、施設の中はまだまだ油断ができません。

今年は辰年、本来の干支でいうと甲辰(きのえ・たつ)といわれます。「甲」は物事の始まりや成長を表し、「辰」は漢書によると「振(ふるう・ととのう)」の意味で、万物が振動し成長して活力が旺盛になる状態を表していると言われています。過去数年にわたる厳しい時期を乗り越え、回復と成長を確かなものとし、昇り龍のごとく大きく飛翔する年にしてゆきたいと思っています。

NHKラジオで「最先端の脳科学の研究では、以心伝心が起こるとき二つの脳に同調が見られるという所見がある。遠く離れた脳が連携しあう可能性が指摘されている」と、脳科学者が話されていました。「以心伝心」は、脳が共鳴している状態ということ。離れていても脳波は同調する、思いは通じる、祈りは想う相手の脳にちゃんと届くということです。地震の恐怖にさらされた方、被害に遭われた皆さんが一刻も早く平穏な日常を取り戻せますように。心の安寧が得られる場所にいられますように、お祈り申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2024年1月 ケアハウス夕なぎ苑 施設長 吉永陽一



12月20日にクリスマス会を行いました。施設長挨拶から始まり、皆さんでクリスマスの歌をうたい、抽選会では「いいのがあったー」「はずれじゃ」と弾む声が聞かれ、ケーキやジュースを楽しめました。

